

受付番号	2023-27		
許可番号	大歯医倫 第 111287 号		
研究課題名	「居場所づくり」および健康相談等の「住民を対象とした活動」の実態調査		
研究責任者	聲高 英代	申請者	聲高 英代
終了日	2029年3月31日		
所属	看護学部開設準備室	所属	看護学部開設準備室
職名	特任准教授	職名	特任准教授

#### 申請の概要

本研究は、「居場所づくり」（高齢者や子ども等住民に対して地域の中に居場所を提供する活動）および健康相談等の「住民を対象とした活動」を行う「地域の保健室」等の機能・役割を明らかにし、「地域の保健室」等と他機関の協働モデルを開発・波及させることにより、地域の「保健室」等の機能が発揮された新たな地域包括ケアシステムの構築を目指すものである。

先行研究により、「地域の保健室」等での活動は、現行の地域包括ケアシステムの隙間を埋める多様なサービスであり、住民と地域の様々な機関、住民同士をつなぐ役割があることが明らかになっている。「地域の保健室」等は今後の発展が期待される地域の貴重な社会資源と考えられる。一方で、「地域の保健室」等の活動は地域の他の機関および行政には十分に知られているとは言えず、地域包括ケアシステムにおける社会資源として位置づけられるには至っていないことが明らかになっている。

そこで、本研究では、特定小地域において、「地域の保健室」等の「居場所づくり」および健康相談等の「住民を対象とした活動」を行う場の実態と他機関との連携の実態および課題を明らかにすることを目的とする。特定小地域の保健・医療・介護関係の事業所・施設および住民主体で活動する団体に対して、活動の実態および他機関との連携の実態および課題についてのアンケート調査を行う。

本研究の結果は、地域包括ケアシステムにおける「地域の保健室」等の位置づけおよび地域他機関との連携の在り方を検討する資料となり、小地域における「地域の保健室」等の役割を発揮した地域包括ケアシステムモデルの構築につながり、さらに本モデルを改良、多地域に波及させることにより、全国の「地域の保健室」等が役割を発揮し多様化する高齢者のニーズや課題に対応できる地域包括ケアシステムが構築されるものと期待される。